



ムーアカデミー通信

Aichi Kaisho Forest Center News Letter vol.55 Spring 2023

これはコアジサイの花だよ。
公園などで見かけるアジサイと違って
装飾花がないので一見地味に
見えるよね。
でも、山で出会う姿は繊細で幻想
的な雰囲気醸（かも）し出して
いるよ。



今号のトピックス

- ・海上の森はいま 海上の森 調査報告書 第12号 発行！……………(2P)
- ・この人 よりあい工房ばんどり 古澤法之さん……………(3P)
- ・センター職員随想リレー 語りべの一言……………(3P)

もりのあそびコーナー及び休憩スペースの再開について

新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、休止しておりました「もりのあそびコーナー」と「休憩スペース」を再開しました。休憩スペースでは海上の森PR動画を上映しております。



引き続き、三密を避けるなど基本的な感染防止対策に努めていただき、ゆずりあってご利用ください。

海上の森はいま 海上の森 調査報告 第12号 発行！ ～報告書から見えること～

海上の森調査報告第12号を発行しました。5年毎に実施している湿地調査を始め毎年実施している猛禽類や哺乳類の記録をとりまとめています。また、海上の森をフィールドとする市井の研究者からアリやゾウムシの観察記録をご寄稿いただいています。どちらも大変小さな昆虫ですので発見や同定の苦労が忍ばれます。

詳細は調査報告をご覧くださいとして、興味深い調査結果を紹介します。

①湿地について

多くの湿地で森林化の進行による影響で湿地植物が減少し衰退している状況が明らかになりました。一方で、維持作業等で環境が改善した湿地もあり、今後の湿地の保全・管理のあり方を示唆する取組も見られました。

②猛禽類について

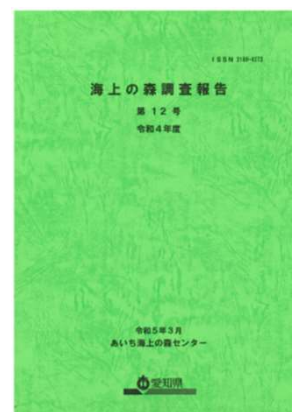
計12種の猛禽類が観察されました。

種別では、ノスリが35日間と最も多く観察され、次いで、トビが32日間、ハチクマが18日間観察されました。

③哺乳類について

自動撮影カメラでの撮影頻度はイノシシが突出しており、次にニホンジカ、ニホンカモシカが続く結果となりました。海上の森でもイノシシ対策が喫緊の課題であることが浮き彫りになりました。

興味のある方は、当センターにて配布していますのでお申し出ください。なお、部数に限りがありますので、配布部数に達した段階で終了とさせていただきます。



海上の森散歩 ～春から初夏に見られる花や昆虫～

寒い冬が去り、静かだった森にも賑わいが戻りました。林内や林縁、里で可憐な姿を見せています。



チゴリ 4.21



アズキナシ 4.21



ヤマフジ 4.21



コムスジチョウ 4.21



マツバウンラン 5.5



ハルジオン 5.19



コアオハナムグリ 5.19



タバサナイ 5.19

* 日付は今年の撮影日

この人 「むささびっ子の森活動の仕掛け人」 古澤 法之さん

こんにちは、風です。海上の森へようこそ！

こんなふうにあ挨拶するようになってから、もう丸18年になります。18年前の今頃、愛・地球博「里の自然学校」でネイチャーガイドとしてデビューしました。全てが初めてのことで、落ちこぼれのガイドでしたが万博終了後、一緒に事業を興そうと誘ってくれたのが現代表です。それが「NPO チームばんどり」の源泉となりました。あいち海上の森センター主催の「森の楽校」事業を受託すると、やがてそれは「森のようちえん」へと繋がります。森のようちえんは時代の波にも乗り大人気となりましたが、同時に多くの落選者を生み出しました。「もっと回数を増やして欲しい」とのオーダーに応えるべく誕生したのが「むささびっ子の森くらぶ」という自主イベントです。くらぶは常に満員御礼の賑わいをみせ、大勢の海上の森ファンができました。しかもその多くは、これまで野外保育や環境教育に興味のなかった人たちです。すると今度は「兄姉の行き場がない」との要望が出てくるのは必定。小学校低学年対象として始まった「むささびっ子の森たんけん隊」は、ようちえんでは叶わなかった焚き火や、サバイバル的なチャレンジ要素を盛り込んだイベントとして展開していきます。もう想像に容易いですね。この次にできるのは大きい子向けのものを「むささびっ子の森開拓団」と名付けました。これは一過性のイベントではなく、森づくりに参加したい人が、やりたいこと

を語り合っ協力しながら夢に向かう、終わりのないワークショップです。年齢の上限は設けません。大人も子どもも互いに認めあい尊重しあいながら進む、まさにむささびっ子の森の最終形態として、現在は農業を通して森と向き合っています。このように私たちNPO チームばんどりは、参加者と共に成長してきました。代表の酒井が「自然を守るためには自然を好きになることが一番の近道だ」といって始まった活動は、大きくはなはいけれど着実に、花を咲かせ実を結んでいます。むささびっ子たちが、これからの時代をどんなふうにしたいか。どう生きたいか。十年後、大人になった彼らが自信をもって「自然が大好き」と言ってくれることを、願わずにはられません。



<プロフィール>

NPOチームばんどり副代表として、冒険系プログラムを担当。ソロ活動としては、山岳ランナーの経験を活かし山旅やトレラン、ビバークを盛り込んだイベントを開催。

センター職員随想リレー 語りべの一言

あいち海上の森センターへ配属されてからちょうど一年が経ちます。昨年春に辞令を受けた時には、失礼ながら「こんな場所に施設があったんだ」と思いもしましたが、今年は経験を踏まえ従事しつつ、季節の移ろいも一緒に楽しみたいと思います。

いつもセンターを利用される方や他の職員には恐れ多いのですが、私はこれまで森に関わった経験がほとんど無く、幼少の頃のボーイスカウト活動や学校行事程度しかありません。いわば、私にとって森は【楽しみに行く場所】、レジャースポットという存在だったと思います。

しかし、職員として勤める中で、倒木等の処理や野生動物の保護、農作物被害への対策、散策マナー遵守、

etc…楽しむなんて言えないほど多くの人の思いや、手間暇、お金など費やしている【面倒な場所】という側面を見えるようになったことが、自分の中で大きな変化だったように感じています。

『森を大切に作る』という当たり前に思える言葉でさえ、実際に何を大切にすることは人それぞれ、千差万別です。時には一方を優先することが他方の不利益になることもあるかと思います。願わくばこのセンターが、これから森に関わられる方にとって単純なレジャースポットだけに終わらせず、様々な視点で考えるきっかけの場となるよう、職員として尽力したいと思います。

(M・S)

参加者募集！ 令和5年度 海上の森体験学習プログラム

◆里と森の教室

●申込先：NPO法人 海上の森の会

●申込先URL：<http://kaishonomori.com/>



募集定員：30名 全15回/セット

参加費：1,000円/人(傷害保険料+食材費)

開催日	内 容	開催日	内 容
① 5月21日(日)	説明会・さつま芋、里芋の植付	⑨ 9月24日(日)	稲刈り、ハザ立て
② 5月28日(日)	田植え	⑩ 10月1日(日)	さつま芋掘り・草取り
③ 6月11日(日)	田の草取り	⑪ 10月15日(日)	稲の脱穀
④ 6月18日(日)	田畑の草取り・じゃが芋収穫	⑫ 11月5日(日)	燻炭作り・里芋掘り・玉ねぎの植付
⑤ 7月2日(日)	田の草取り	⑬ 11月19日(日)	収穫感謝祭
⑥ 7月16日(日)	田の草取り	⑭ 12月3日(日)	堆肥作り・森を知る
⑦ 7月30日(日)	草引き・すいか割り	⑮ 12月17日(日)	落葉かき・水路清掃・正月準備
⑧ 9月3日(日)	にんじんと大根の種まき		

※時間は、9:30～正午 オレンジラインの日は9:30～14:30

対象：小学生以上 ※小学生は保護者同伴

◆グリーンウッドワーク講座 海上の森【里山の木でつくる暮らしの道具】

●申込先：海上の森 みどりの工作室

●申込先URL：<https://midorinokosaku.jimdofree.com>

開催日	内 容	募集定員
① 5月13・14日(土・日)	スプーンづくり	10名
② 8月5・6日(土・日)	スプーンづくり	10名
③ 11月11・12日(土・日) 11月25・26日(土・日)	スツールづくり	10名
④ 2月17・18日(土・日)	ククサづくり	10名



※講座時間は10:00～17:00 ※①と②は同内容です。

※参加費等詳しいことはホームページへ(QRコードを読み取ってください)

◆海上の森キッズアカデミー

●申込先：よりあい工房ぱんどり

●申込先URL：<https://sites.google.com/view/teambandori>



開催日時	内 容	募集定員	参加費
12月3日(日) 10:00～15:00	インタープリターと一緒に森の楽しさやおもしろさを親子で体験・共有して学ぶ	森のがっこう* (対象:小学生) 10家族 森のようちえん* (対象:4歳以上の園児) 15家族 ※保護者同伴	傷害保険料 50円/人

◆海上の森アカデミー

●申込先：あいち海上の森センター

コース	内 容	開催時期	対象	参加費	お申込等
① 森の自然教育コース	森林を活用した自然教育	(6～8月頃)	一般	傷害保険料 + 材料費	各コースの日程が決まり次第 募集チラシによりご案内 所定の申込書 有
② 森女養成コース	女性による森林の保全・整備	(9～11月頃)			
③ 里山暮らしコース	里山の暮らしと資源活用	(秋～冬頃)			

※詳細は、各プログラムの案内チラシおよびセンターHPを参照のこと。

編集後記

新緑の季節になり、海上の森には賑わいが戻ってきました。冬の間に準備していた花芽が一斉に開き、様々な鳥のさえずりが聞かれ、虫たちの元気よく飛び回る姿が目につくようになりました。海上の森は躍動感で一杯です。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)
発行日 2023年4月下旬～5月上・中旬(予定)
〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1
TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841
E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp
URL: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaisho/>

< QRコード >



ホームページ

あいち海上の森センターホームページでカラー版を見ることができます。